

(様式1)

令和元年度 学校評価結果報告書(高等学校用)

| | |
|------------|--|
| (1) 学校教育目標 | 知育・德育・体育・情操の調和のとれた人間を育成する。 ア 正しい判断のもと自主的に行動する。 イ 利己心を抑制し、他人の立場を考えて行動する。 ウ 調和のある豊かな教養を身に付ける。 エ 健康で明るい生活を心がける。 オ 感謝する心、美しさを感じる心を育てる。 |
| (2) 現状と課題 | 本校のほとんどの生徒は純朴で素直である。しかし、学力的には多様な生徒が入学しており、様々な支援を必要とする生徒も増加傾向にある。したがって、生徒に自己肯定感や自己有用感を持たせるような指導が必要である。 |
| (3) 重点目標 | 1 学習指導の充実・改善、研修の充実・強化 2 キャリア教育の充実 3 生徒指導の充実・強化、道徳教育の充実、特別活動および部活動の充実・推進 4 体育、保健・安全指導の充実・強化 |
| (4) 結果の公表 | 学校ホームページで結果を公開している。内容は保護者アンケートを集計した数値・グラフ以外に、記述欄について校長、関係分掌等が回答した文章を掲載している。また、文書での配布を実施している。 |

| | |
|------------|----------------|
| 学校整理番号 | 39 |
| 学校名 | 青森県立三戸高等学校 |
| 全日制の課程 | 校舎 |
| 自己評価実施日 | 令和2年 1月 22日(水) |
| 学校関係者評価実施日 | 令和2年 2月 13日(木) |

| |
|------------------------|
| (9)-イ 学校関係者評価委員会の構成 |
| 小中一貫校 校長1名、学校評議員4名 計5名 |

| 自己評価 | | | | 学校関係者評価 | (10) 次年度への課題と改善策 | |
|---------|---|--|---|------------|---|--|
| 番号 | (5) 評価項目 | (6) 具体的方策 | (7) 具体的方策による目標の達成状況 | (8) 目標の達成度 | (9)-ア 学校関係者からの意見・要望・評価等 | |
| 1 | 一人一人の生徒が確かな学力を身に付けることができるよう、学習習慣の育成と学習内容の確実な定着を図る授業実践に努める。また、教員の専門性を高めるために研修に励む。 | ①45分完全授業の実施（授業第一主義） ②個に応じた学習過程を重視した指導の工夫 ③継続・深化する学習習慣の確立 ④自ら学ぶ意欲を育てる指導の工夫 ⑤計画的な研修の実施と研修成果の実践。 | ・授業の完全実施は概ね達成できているが、授業内容の改善は必要である。 ・学習習慣の継続・深化に関しては改善が必要であり、特に家庭学習の習慣化の指導が急務である。 ・喫緊の課題や専門性の向上を目指した研修を計画的に行ない、学んだ内容を実践に生かしている。 | B | ・各種検定試験等の取得状況の情報を発信してほしい。 ・生徒一人一人に個別に対応しており、すばらしい。 ・家庭学習することで、授業において達成感を味わい、楽しく授業ができるように願います。 | ・45分授業の完全実施を全教員で習慣化する。 ・検定試験の状況について情報公開を積極的に進める。 ・家庭学習の意義を理解させるとともに、習慣化に向けて粘り強く取り組んでいく。 ・継続的な研修実を行い、専門性の向上に生かす。 |
| 2 | 一人一人の生徒が自らの生き方を考え、社会的・職業的自立ができるよう必要な資質・能力・態度の育成に努める。 | ①段階的なキャリア教育指導体制の確立 ②現在および将来の生き方を考える指導に基づく進路指導 ③勤労観・職業観を育む体験学習等の実践 | ・3年間を見通した計画によって、3年次の就職や進学の試験は全校体制での指導を行なった。 ・企業見学やインターンシップ、キャリアサポート等のキャリア形成学習を実施することができた。 ・外部と連携した各種体験や講演会等を実施し、将来の生き方等を考える機会となった。 | B | ・企業見学等の取組が計画的に実施されていて良い。 ・卒業生による合格体験発表会の実施はすばらしい企画だと思う。 ・三戸大学で講座をお願いした大学等に進学する生徒が多いなかったことは残念だ。 | ・キャリア形成に関連した行事の組み方を参考し、より効果的な実施をしていく。 ・合格体験発表等の企画を継続させる。 ・進路指導部主導による指導体制を確立させ、計画・立案等一貫した取組を実施する。 |
| 3 | 一人一人の生徒が豊かな生活を送ることができるよう、家庭や地域社会と連携を図り、生徒理解を深めるとともに道徳性の育成に努める。活力ある豊かな学校生活を送るために、特別活動の充実と部活動の推進に努める。 | ①生徒指導の機能を生かした学年・学級経営の充実 ②きめ細やかな生徒理解と教育相談体制の充実 ③いじめの積極的な認知と組織的な対応の徹底 ④特別な配慮をする生徒への校内支援体制の確立 ⑤豊かな心と郷土を愛する心を育む体験活動の推進 ⑥連帯感を高め、豊かな心を育む学校行事の充実 | ・いじめの積極的な認知を行い、組織的に対応することができた。 ・特別支援教育の研修会開催等により指導体制の充実を図ることができた。 ・城山公園のクリーン大作戦やさんのへ秋まつり等への参加、各種学校行事の効果的な実施により、地域との連携をより深め、郷土を愛する心、豊かな心を育むことができた。 | A | ・報告義務の小さなトラブルはあったのか? →アンケート調査を実施し、聞き取りを一つ一つ行って判断している。 ・地域と連携した活動では、BMCでの活動等、積極的に行われていて地域の評価も高く、すばらしい。 ・生徒個々との面談や対応を行っていてすばらしい。 | ・いじめやその他のトラブルを未然に防ぐための取組を強化していく。 ・少人数にはなっていく可能性はあるが、地域と連携した体験活動等は継続させる。 ・生徒指導保健部と学年の連携を強化し、生徒の対応に万全を期す。 |
| 4 | 一人一人の生徒の健康・体力の増進と安全な生活を営むことができる能力と態度の育成に努める。 | ①自ら進んで運動に親しむ態度を育てる指導の工夫 ②家庭や地域社会と連携した保健・安全指導の充実 ③生徒の自主的な活動を推進し、保健教育の充実を目指す。 | ・交通安全教室、薬物乱用防止教室、3回の避難訓練を通じて効果的な保健・安全指導ができた。 ・県内の病院勤務の医師から協力を得て、性に関する講演会を実施できた。 ・保護者等の協力を得て、挨拶運動や登校指導を実施した。 | B | ・様々な取組をしていると感じます。 ・挨拶は自分のために自ら元気よく。 ・運動が苦手な生徒も多いのか、体力的に問題のある生徒もある様子。 | ・各種安全等に関する取組を継続させるとともに、運動に親しむ態度を育てる指導をより工夫していく。 ・保護者等と連携した安全指導を継続する。 ・保健委員会等を活用した生徒の自主的な保健教育活動を推進する。 |
| (11) 総括 | 全校体制での指導の下、3年生の希望進路を概ね達成することができた。2年次からの人文・数理探究コース、総合教養コース、ビジネス・マネジメントコース(BMC)の3コース制がきちんと機能し、自発的なボランティアへの参加やチャレンジショップの運営、地域と連携した様々な学習等それぞれのコースの特長を生かした生徒の生き生きとした活動は継続できており、生徒の豊かな心や郷土を愛する心を育むことができている。また、地元三戸町を中心として、地域との連携を大切にしながらできるだけ地域の要望等に応え、ボランティアをはじめとして、生徒に各種体験活動を経験させることができた。今後も地域との連携を密にしつつ、一人一人の生徒を生かし、地域と学校がウイングインの関係となるよう努力を継続していかたい。 | | | | | |